

昭島市内の祭礼展示

＃3 駒形神社

展示期間：令和4年3月28日～令和4年7月中旬

大神町と駒形神社の歴史

大神という地名は、伊勢の住人が大神の地に移り住み、土地に五十鈴や西ノ岡などの字名をつけたことや、神明社（駒形神社の前身）に天照皇大神を祀ったことに由来するという説があります。

神明社は、永禄12年(1569年)より以前から鎮座していたとされ、慶長8年(1603年)ごろ、駒形神社が創建されたとされます。

慶長18年(1613年)に焼失しましたが、元禄13年(1700年)に再建されました。昭和5年(1930年)と昭和52年(1977年)の修復を経て現在に至ります。



祭礼の変遷

現在は五社（津島神社、稲荷神社、金毘羅宮、第六天社、御嶽神社）もまとめて駒形神社の祭礼として行われていますが、もとは津島神社の祭神、素戔鳴尊を祀る天王様のお祭りでした。

昭和50年(1975年)に神輿が復元され、翌年に祭囃子が新たに重松囃子として復活しました。その後、山車や万灯神輿が造られました。平成18年(2006年)からは祭礼灯籠を門前に掲げています。

宵宮に太鼓車、囃子の山車と共に万灯神輿の渡御が行われ、本宮では太鼓車、子ども神輿、大人神輿、手古舞、囃子の山車が連なって町内を巡行します。



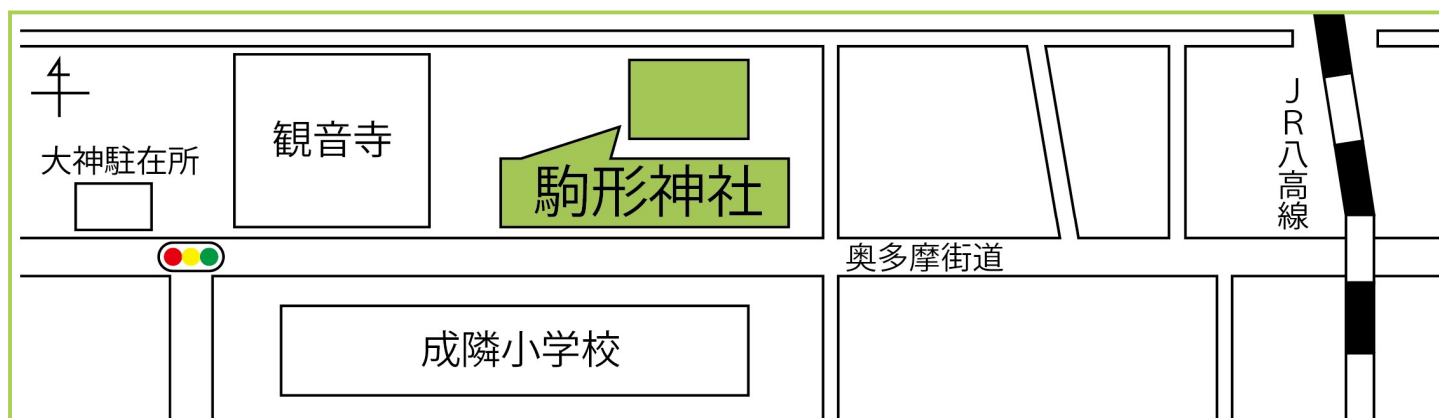
担当学芸員より

今回は、市内に伝わる祭礼道具展示の第3回として、駒形神社の御神輿と祭礼道具を中心に展示が実現いたしました。ご協力いただいた駒形神社関係者の皆様と、大神町駒形神社祭礼振興会、大神町駒形囃子連の皆様、深く御礼申し上げます。

昭島市内の祭礼展示

駒形神社

展示期間: 令和4年3月28日~7月中旬



昭島市郷土資料室

〒196-0012 東京都昭島市つつじが丘3-3-15 アキシマエンス国際交流教養文化棟1階

TEL: 042-543-1523 FAX: 042-542-8002

URL: https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html

アキシマエンス